

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時の訓練のマニュアルが具体的でなく、毎回同じような訓練を行っていた。また、消防署の立ち会いを1年置きにしていた。いろいろな災害の場면을想定しての訓練を職員や関係者と共に行い、備えが必要である。	災害対策、マニュアル(火災・地震・風水害など)を見直し、職員の防災管理意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災訓練は年2回実施し、消防署の立ち会いを年1回行う。</li> <li>・夜間などいろいろな場면을想定した訓練や、連絡通報も組み入れた訓練を行う。</li> <li>・その他、風水害や地震などの災害マニュアルの整備し、訓練を実施する。</li> </ul>	6ヶ月
2	3	ホーム独自の運営推進会議に、行政や地区自治会長・民生委員に参加要請せず、合同の会議で済ませていた。	ホーム独自の運営推進会議を、活気のある集会にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加の有無に関わらず、ご案内をする。</li> <li>・会議の趣旨の説明をし、理解を求める。</li> <li>・合同会議の時に会議録など提示し、ご意見をいただく。</li> </ul>	6ヶ月
3	1	ホームの理念については研修等を通して、随時勉強会を行っているが、全職員がもっと理念を理解しケアに活かそうと取り組むことで、ホームの目指す安らぎの場所作りが出来る。	理念を理解することで、入居者やご家族他、みなさんと良い関係を築き、安心した生活が提供出来るとともに、職員も安心して毎日のケアに取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議にて理念に沿った行動計画を全員で立案し、実施する。</li> <li>・次月の職員会議でモニタリングをする。</li> <li>・朝礼や職員会議等での理念の唱和は続ける。</li> <li>・研修参加者が復命する時にもう一度理念の意味を考える。</li> </ul>	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。